

4 スポーツチャンバラ

場所	人数	対象年齢	運動強度
屋内	1人対1人	誰でも可	中度

特 色

「スポチャン」の愛称で親しまれているスポーツチャンバラは、1971年に考案された全く新しいタイプのニュースポーツです。従来の武道のように形式に縛られた堅苦しい面はなく、自分の発想を自由に活かして戦えます。また、受け身などの事前訓練も必要ないので、誰でも気軽に楽しむことができます。

ルールは簡単で、短刀・長剣などの大小様々な武器で打ち合って、相手の体のどこかを十分な威力で打てば勝ちです。

世界共通の「空気」を利用したエアースoft棒の登場により、老若男女が安全かつ公平にプレーできるようになり、世界で愛好者が増えています。

競技種目

- ①「短刀」の部 全長45cm以下
- ②「小太刀」の部 全長60cm以下
- ③「両手長剣」の部 全長100cm以下の長剣を用い、原則的に両方の手で把持します。（剣道を想像してください）
- ④「片手長剣」の部 全長100cm以下の長剣を用い、西洋的な片手で把持します。（フリーハンド）
- ⑤「二刀流」の部 小太刀と長剣の2本を使います。
- ⑥「楯と小太刀」の部 左手（又は右）にスポンジ製の楯を持ち、右手（左手）に小太刀を持って戦います。
- ⑦「棒」の部 全長210cm以下
- ⑧「槍・薙刀」の部 全長210cm以下

試 合

- (1) 3分間、1本勝負です。延長は2分間で行います。但し、決勝戦は3本勝負とする場合もあります。
- (2) 相打ちは両者負けとなります。但し、3本勝負の1本目が相打ちの場合は、相方が1本ずつ取ったことになり1本勝負として試合を行います。
- (3) 各種目は、同種類の武器で戦います。
- (4) 大会でのグランドチャンピオンを決定する場合は、各種目の勝利者によるトーナメント1本勝負とし、その際の得物は公平をきすために、長剣（フリー）で実施します。
- (5) 各種目の試合は、6～7mの長方形の試合コートにて行います。
- (6) 武器を持っていない手で受ける事を「かばい手」といい、一度のみ許されます。かばいては「かばいて」と審判が警告します。二度目は使えないため、使った場合は1本とされます。
- (7) 「両手長剣」の部では、初太刀のみの片手打ちは「有効」ですが、それ以外の片手打ちは反則となります。

